

ゲノムワイド関連解析を用いた革新的な肝移植後肝炎ウイルス再感染予防・  
治療法の確立に関する研究

研究代表者 前原 喜彦 九州大学大学院医学研究院 教授

研究要旨

わが国における肝移植適応疾患の内、C型肝炎は成人に対する肝移植の最も主要な疾患となっている。しかしながら移植後ほぼ全例にC型肝炎は再発するため、これに対する治療は喫緊の課題である。最近非移植後の慢性C型肝炎に関しては、プロテアーゼ阻害剤の使用が有効であることが報告されているが、免疫抑制剤使用下での安全性が確立されていない現状では、従来のインターフェロン(IFN)、リバビリン療法が唯一の治療法である。ヒトゲノム解析の急速な進歩とともに遺伝子多型(SNP)が様々な病態に関与していることが明らかになり、C型肝炎に対するIFN治療の効果に関して、IL28B周辺遺伝子の遺伝子多型が大きな影響を与えていることが知られるようになった。主任研究者は肝移植においてはドナー、レシピエント双方の遺伝子多型のキメラ状態が移植後のIFN治療に重要であることを見出したが、これを全国その他施設共同研究で明らかにするとともに、C型肝炎の重症型である胆汁鬱滞性肝炎や肝線維化進行に関与する因子を明らかにする。また、C型肝炎に対する肝移植成績、インターフェロン治療の成績を多施設の情報をもとに明らかにする。

本研究を行うことにより、以下の効果が期待できる。すなわち、C型肝炎に対する生体肝移植後インターフェロン治療の効果を予測することにより、その適応を判断することができる。これにより、効果の予想される患者のみに治療を行う効率的医療を行うことができ、患者QOLの向上につながる。非常に高価な医療資源であるインターフェロンを、効果が期待されるところに投入することができ、医療経済効果が期待できる。さらに、肝移植後の治療(インターフェロン)を含む、新たな肝炎克服治療指針の確立が期待できる。肝移植における最大の課題は肝炎ウイルスの再感染予防・治療である。今回「ゲノムワイド関連解析を用いた革新的な肝移植後肝炎ウイルス再感染予防・治療法を確立する」ことにより、新たな治療法の開発へとつながる可能性がある。

研究代表者および分担者所属施設から、C型肝炎に対する肝移植症例の臨床データは九州大学に、またDNA含有組織あるいは血液は第三者DNA抽出施設で回収、DNAを抽出し九州大学および国際医療センターへと送付した。これにて計514例のC型肝炎に対する生体肝移植のデータベースを構築し、ドナー198例、レシピエント231例の合計429例のDNAの抽出を行うことができた。臨床データベースの解析から、514例のC型肝炎に対する生体肝移植の後、366例にIFN治療が導入され、216例がVRに、157例がSVRに至ったことが判明した。VR率、SVR率はそれぞれ59.0%および42.9%であった。またIFN製剤は60.4%の症例でPeg-IFN 2b、28.9%の症例で通常型IFN、10.7%の症例でPeg-IFN 2aが使用されていた。治療開始時期および治療量の設定は施設によりそれぞれであった。C型肝炎に対する移植後生存率は、5年および10年後でSVR例ではそれぞれ94.1%および83.0%、非SVR例でそれぞれ79.7%および60.8% ( $p < 0.001$ )であり、SVRが患者生存率に大きく関わっていることが判明した。対象患者に於いては75.6%の症例がTT型のIL28B遺伝子多型をもち、それ以外のTGあるいはGG型はそれぞれ23.5%および0.9%であった。ドナーおよびレシピエントのIL28B遺伝子多型がTTのものでは有意にSVR率が高率であったが、TGあるいはGGのものではSVR率は非常に低値にとどまった。生体肝移植後の胆汁鬱滞性肝炎は非常に重篤な病態であり、その死亡率は約60-70%といわれている。九州大学における肝移植後胆汁鬱滞性肝炎に於いて、HCVRNAが2週間で7.2logIU/mlに増加することがその発症のリスクファクターであり、同疾患ではHCVRNAのgenetic distanceが極めて小さくなっていることが判明した。また肝移植後胆汁鬱滞性肝炎の病理学的特徴は肝細胞の領域を選ばないバルーニングであることが明らかとなった。

現在までに得られた成果の重要なポイントは、C型肝炎に対して生体肝移植を行った後のインターフェロンの治療効果予測にはドナーおよびレシピエント両者のIL28BのタイプがTTであることが必要であるということである。このことは肝移植の適応を判断する上で非常に重要となる。すなわち、肝移植後の生存率は、非代償性肝硬変のレシピエントの状態が、比較的良好状態で肝移植術を施行した方が明らかに高いことが分かっているが、この場合ドナーのリスクなどを考えると、肝移植後の肝炎制御率というのが大きく肝移植の適応判断に関わってくる。IL-28BがT/Tであれば、より積極的に肝移植を行い、インターフェロン治療を行うことが、患者QOLの向上および医療費の抑制につながることを予想される。現状に於いて、ドナーおよびレシピエントのIL-28BのSNPを測定することにより、C型肝炎に対する肝移植後のインターフェロン感受性を概ね予測することが可能である。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名

前原 喜彦 九州大学・消化器・総合外科学  
教授

溝上 雅史 国立国際医療研究センター・  
肝臓病学  
センター長

川岸 直樹 東北大学病院・外科学  
准教授

具 英成 神戸大学・肝胆膵外科学  
教授

猪股 裕紀洋 熊本大学・小児外科学・移植外科学  
教授

古川 博之 旭川医科大学・消化器病態外科学  
教授

矢永 勝彦 東京慈恵会医科大学・外科学  
教授

國土 典宏 東京大学医学部附属病院・  
肝胆膵外科・人工臓器移植外科学  
教授

島田 光生 徳島大学・消化器・移植外科学  
教授

北川 雄光 慶應義塾大学医学部・外科学  
教授

藤原 俊義 岡山大学・消化器・腫瘍外科学  
教授

永野 浩昭 大阪大学大学院・消化器外科学  
准教授

調 憲 九州大学・消化器・総合外科学  
准教授

大段 秀樹 広島大学・外科学  
教授

江口 晋 長崎大学・移植消化器外科学  
教授

竹内 正弘 北里大学・臨床統計学  
教授

赤澤 宏平 新潟大学・統計学  
教授

森田 智視 横浜市立大学・臨床統計学・疫学  
教授

山中 竹春 国立病院機構九州がんセンター・  
臨床統計学  
室長

武富 紹信 北海道大学・消化器外科分野  
教授

副島 雄二 九州大学・消化器・総合外科学  
共同研究員

池上 徹 九州大学・肝臓・脾臓・門脈・肝臓  
移植外科学  
助教

池田 哲夫 九州大学・外科集学的治療学  
准教授

A．研究目的  
肝移植後 C 型肝炎再発に対する予防・治療方法は非常に多様である。多施設から数百例の臨床データを集積することで、C型肝炎に対する生体肝移植成績、摘脾術を加えるか否か、免疫抑制剤の投与方法、インターフェロン治療のタイミングと使用する製剤、抗ウイルス治療の成績などを明らかにすることができる。多施設から提供された組織から IL28B の遺伝子多型 (rs8099917、TT、TG、GG) を解析することで、我が国における肝移植患者の IL28B の遺伝子多型の分布割合、最大 9 通りの組み合わせになる肝移植患者のキメラ的 IL28B 遺伝子多型と、インターフェロン治療の効果の関係を解明することができる。これにより C 型肝炎に対する生体肝移植後インターフェロン治療の効果をより予測することにより、その適応を判断することができる。非常に高価な医療資源であるインターフェロンを、効果が期待される患者のみに投与を行う効率的医療を行うことができ、患者 QOL の向上と医療経済効果につながる。また、肝移植後の治療 (インターフェロン) を含む、新たな肝炎克服治療指針の確立が期待できる。肝移植における最大の課題は肝炎ウイルスの再感染予防・治療である。ゲノムワイド関連解析を用いた革新的な肝移植後肝炎ウイルス再感染予防・治療法を確立することにより、特に肝移植後の胆汁鬱滞性肝炎など難治性肝炎再発に対して新たな治療法の開発へとつながる可能性がある。

B．研究方法  
我々はこれまでに肝移植症例において、Donor および Recipient の SNP が移植後の IFN 治療効果に有意に相関することを示してきた (Fukuhara T, et al. J Hepatol 2010; Fukuhara T, et al. Gastroenterology 2010)。この結果を臨床応用していくためには、多施設共同研究を行い、IL28B 遺伝子変異解析が肝移植後 IFN 治療の効果予測において有用であることを確実に証明する必要があり、エビデンスの高い日本発の臨床研究結果を得るために多施設共同研究を行う。研究代表者および分担者所属施設から、C型肝炎に対する肝移植症例の臨床データは九州大学に、また DNA 含有組織あるいは血液は第三者 DNA 抽出施設

で回収、DNA を抽出し九州大学および国際医療センターへと送付し、シークエンスを行うことよりドナーおよびレシピエントの IL28B の SNP が Major あるいは Minor であることが判定可能となる。各施設より回収したインターフェロン治療効果のデータベースを参照することにより、IL28B の SNP が治療効果とどのように相関するのかを多数症例にて判定する。

#### (倫理面への配慮)

本試験に関与するすべての者は「世界医師会ヘルシンキ宣言」、および「臨床研究に関する倫理指針」に従う。試験に携わる関係者は被験者の個人情報保護に最大限の努力を払う。説明文書・同意書および同意撤回書は試験責任医師が作成する。また、作成した説明文書・同意書(は試験開始前に所属する医療機関の倫理審査委員会に提出し、その承認を得る。試験責任医師および試験分担医師は、症例登録票および症例報告書等を当該医療機関外に提出する際には、連結可能匿名化を行うために新たに被験者識別コードを付し、それを用いる。医療機関外の者が、被験者を特定できる情報(氏名・住所・電話番号など)は記載しない。データセンターが医療機関へ照会する際の被験者の特定は、試験責任医師および試験分担医師が管理する被験者識別コードまたはデータセンターが発行した登録番号を用いて行う。原資料の直接閲覧を行ったモニタリング担当者、監査担当者、規制当局の担当者などは、そこで得られた情報を外部へ漏洩しない。主任研究者等が試験で得られた情報を公表する際には、被験者が特定できないよう十分に配慮する。本研究では、ウイルス(HCV)の遺伝子検索実験を含んでいる。九州大学における学内規定(九州大学遺伝子組み換え実験安全管理規則および同細則)は、ウイルス拡散防止に関する条目を含み、それに従い適切な取り扱いを行うものとする。また実験は、九州大学遺伝子組み換え実験安全管理規則および同細則に基づき、P2/P2A レベルの実験施設にて、承認された計画調書に従い、安全性の確保に最大限の注意を払って研究を行う。またこれらの検体は実験時にはナンバー化され、実験者に提供された時点で個人情報と隔絶されるようにしている。従って個人情報保護法には抵触しない。ゲノム遺伝子解析については別途ヒトゲノム遺伝子解析研究倫理審査委員会について審査の上、所定の手続きをもって患者本人の同意を得たうえで実施する。従って本研究の遂行上、倫理的な問題に抵触することはない。

#### C. 研究結果

臨床データベースの解析から、514 例の C 型肝炎に対する生体肝移植の後、366 例に IFN 治療が導入され、216 例が VR に、157 例が SVR に至ったことが判明した。VR 率、SVR 率はそれぞれ 59.0%および 42.9%であった。また IFN 製剤は 60.4%の症例で Peg-IFN 2b、28.9%の症例で通常型 IFN、10.7%の症例で Peg-IFN 2a が使用されていた。治療開始時期および治療量の設定は施設によりそれぞれであった。C 型肝炎に対する移植後生存率は、5 年および 10 年後で SVR 例ではそれぞれ 94.1%および 83.0%、非 SVR 例でそれぞれ 79.7%および 60.8%( $p < 0.001$ )

であり、SVR が患者生存率に大きく関わっていることが判明した。対象患者に於いては 75.6%の症例が TT 型の IL28B 遺伝子多型をもち、それ以外の TG あるいは GG 型はそれぞれ 23.5%および 0.9%であった。ドナーおよびレシピエントの IL28B 遺伝子多型が TT のものでは有意に SVR 率が高率であったが、TG あるいは GG のものでは SVR 率は非常に低値にとどまった。一方我々は IFN に注目した。IFN は 2013 年に報告された新しいインターフェロンであり (Prokunina-Olsson L, et al. Nat Genet. 45:164-71;2013) IL28B(IFN 4)および rs8099917 のごく近傍に存在することが示された。そして IFN 4 のうち ss469415590 の SNP がアフリカ系住民に於いて IFN 感受性と関係していることが明らかにされた。そこで我々は、集積症例において ss469415590 の SNP 解析をおこなった。すると rs8099917 における T/T, T/G, G/G と ss469415590 における T/T, T/G, G/G の相同性は 99.0% (303/307) であることが明らかとなった。rs8099917 の場合と同様 ss469415590 に於いても T/T の haplotype をもつものが最も (73.1%) SVR 率が高率であった。

生体肝移植後の胆汁鬱滞性肝炎は非常に重篤な病態であり、その死亡率は約 60-70%といわれている。九州大学における肝移植後胆汁鬱滞性肝炎に於いて、HCVRNA が 2 週間で 7.2logIU/ml に増加することがその発症のリスクファクターであり、同疾患では HCVRNA の genetic distance が極めて小さくなっていることが判明した。また肝移植後胆汁鬱滞性肝炎の病理学的特徴は肝細胞の領域を選ばないバルーンングであることが明らかとなった。

最後に新規薬剤である Direct acting agent (Telaprevir) を用いた治療を 11 例に導入した。治療効果は激烈であり、RVR が 27.3%であったものの EVR および SVR は 90.9%であった。ただし一例に治療 9 週で T54A の mutaion が出現し viral breakthrough を発症した。しかし興味深いことにこの mutated virus は薬剤中止後時間経過とともに消失していった。イボウ高度貧血と腎機能障害が Telaprevir を用いた治療の問題点であった。

#### D. 考察

現在までに得られた成果の重要なポイントは、C 型肝炎に対して生体肝移植を行った後のインターフェロンの治療効果予測にはドナーおよびレシピエント両者の IL28B のタイプがメジャー/メジャー (TT) であることが必要であるということである。このことは肝移植の適応を判断する上で非常に重要となる。すなわち、肝移植後の生存率は、非代償性肝硬変のレシピエントの状態が、比較的良好状態 (performance status が保たれ、MELD (model for end-stage liver disease) スコアの低い状態) で肝移植術を施行した方が明らかに高い (生存率) ことが分かっているが、この場合ドナーのリスクなどを考

えると、肝移植後の肝炎制御率というのが大きく肝移植の適応判断に関わってくる。IL-28B がメジャー/メジャーであれば、より積極的に肝移植を行い、インターフェロン治療を行うことが、患者 QOL の向上および医療費の抑制につながる事が予想される。逆に、IL28B にマイナー要素が含まれていた場合は、肝移植後インターフェロン治療が困難になることが予想され、そのためたとえ肝硬変により非常に状態が悪い状態であったとしても、ドナーのリスクおよびその後のグラフト機能を考慮すると肝移植を適応としないという判断も行える可能性がある。多施設からの検体を用いた検討によりこの観察結果がさらに明らかとなった。本研究により得られた結果により、肝移植適応の大きな判断材料となる指針が得られる可能性が高い。最後に今後は Direct acting agent による抗 HCV 治療において治療効果予測因子として IL28B が活用できるのか更なる検討が必要である。

#### E . 結論

多施設共同研究から、ドナーおよびレシピエントの IL-28B の SNP を測定することにより、C 型肝炎に対する肝移植後のインターフェロン感受性を概ね予測することが可能である。

#### F . 健康危険情報

特記すべきことなし。

#### G . 研究発表

##### 1. 論文発表

- 1) Shirabe K, Mano Y, Muto J, Matono R, Motomura T, Toshima T, Takeishi K, Uchiyama H, Yoshizumi T, Taketomi A, Morita M, Tsujitani S, Sakaguchi Y, Maehara Y.  
Role of tumor-associated macrophages in the progression of hepatocellular carcinoma  
Surg Today.2012. 42(1): 1-7
- 2) Uchiyama H, Mano Y, Taketomi A, Soejima Y, Yoshizumi T, Ikegami T, Shirabe K, Maehara Y  
Kinetics of Anti-Blood Type Isoagglutinin Titers and B Lymphocytes in ABO-Incompatible Living Donor Liver Transplantation With Rituximab and Plasma Exchange  
Transplantation.2011. 27 ; 92: 1134-9
- 3) Takeishi K, Shirabe K, Toshima T, Ikegami T, Morita K, Fukuhara T, Morita T, Mano Y, Uchiyama H, Soejima Y, Taketomi A, Maehara Y.  
De Novo Autoimmune Hepatitis Subsequent to Switching from Type 2b to Type 2a Alpha-Pegylated Interferon Treatment for Recurrent Hepatitis C After Liver Transplantation: Report of a Case  
Surg Today.2011. 41(7): 1016-9
- 4) Motomura T, Taketomi A, Fukuhara T, Mano Y, Takeishi K, Tishima T, Harada N, Uchiyama H, Yoshizumi T, Soejima Y, Shirabe K, Matsuura Y, Maehara Y.  
The Impact of IL28B Genetic Variants on Recurrent Hepatitis C in Liver Transplantation: Significant Lessons from a Dual Graft Case  
Am J Transplant.2011. 11(6): 1325-9
- 5) Hashimoto N, Shimoda S, Kawanaka K, Tsuneyama K, Uehara H, Akahoshi T, Kinjo N, Taketomi A, Shirabe K, Akashi A, Lleo A, Ansari AA, Gershwin ME, Maehara Y.  
Modulation of CD4+ T cell responses following splenectomy in hepatitis C virus-related liver cirrhosis  
Clin Exp Immunol.2011. 165(2): 243-50
- 6) Shirabe K, Takeishi K, Taketomi A, Uchiyama H, Kayashima H, Maehara Y.  
Improvement of Long-Term Outcomes in Hepatitis C Virus Antibody-Positive Patients with Hepatocellular Carcinoma after Hepatectomy in the Modern Era  
World J Surg.2011. 35(5): 1072-84
- 7) Nakamuta M, Fujino T, Yada R, Aoyagi Y, Yasutake K, Kohjima M, Fukuizumi K, Yoshimoto T, Harada N, Yada M, Kato M, Kotoh K, Taketomi A, Maehara Y, Nakashima M, Enjoji M.  
Expression Profiles of Genes Associated With Viral Entry in HCV-Infected Human Liver  
J Med Virol.2011. 83(5): 921-7
- 8) Toshima T, Shirabe K, Takeishi K, Motomura T, Mano Y, Uchiyama H, Yoshizumi T, Soejima Y, Taketomi A, Maehara Y.  
New method for assessing liver fibrosis based on acoustic radiation force impulse: a special reference to the difference between right and left liver  
J Gastroenterol.2011. 46(5): 705-11
- 9) Fukuhara T, Tanni H, Shiokawa M, Goto Y, Abe T, Taketomi A, Shirabe K, Maehara Y, Matsuura Y.  
Intracellular delivery of serum-derived hepatitis C virus  
Microbes Infect.2011. 13(4): 405-12
- 10) Morita K, Taketomi A, Shirabe K, Umeda K, Kayashima H, Ninomiya M, Uchiyama H, Soejima Y, Maehara Y.  
Clinical significance and potential of hepatic microRNA-122 expression in hepatitis C  
Liver Int.2011. 31(4): 474-84
- 11) Yoneyama T, Asonuma K, Okajima H, Lee KJ, Yamamoto H, Takeichi T, Nakayama Y, Inomata Y.  
Coefficient Factor for Graft Weight Estimation from Preoperative Computed Tomography Volumetry in Living Donor Liver Transplantation  
Liver Transpl.2011. 17(4): 369-372
- 12) Saito R, Ishii Y, Ito R, Nagatsuma K, Tanaka, Saito M, Maehashi H, Nomoto K, Ohkawa H, Mano, K, Aizawa M, Hano H, Yanaga K, Matsuura T.

- Transplantation of Liver Organoids in the Omentum and Kidney  
Artif Organs.2011. 35: 80-3
- 13) 原 裕子、北 嘉昭、脇山茂樹、後町武志、坂本太郎、広原鍾一、石田祐一、三澤健之、矢永勝彦  
生体肝移植の待機中に脾梗塞を認めた原発性胆汁性肝硬変の 1 例  
肝臓.2011. 52(1):36-41
- 14) Utsunomiya T,Shimada M.  
Modified hanging method for liver resection  
J Hepatobiliary Pancreat Sci.2012.19:19-24
- 15) Imura S,Shimada M, Utsunomiya T, Morine Y, Ikemoto T, Mori H, Hanaoka J, Ishibashi H, Miyake H.  
A modified liver-hanging maneuver focusing on the ligamentum venosum for left hepatic lobectomy  
Surg Today.2011.18: Epub a head of print
- 16) Kanamoto M, Shimada M, Morine Y, Yoshizumi T, Imura S, Ikegami T, Mori H, Arakawa Y.  
Beneficial Effects of Follistatin in Hepatic Ischemia-Reperfusion Injuries in Rats  
Dig Dis Sci.2011.56:1075-81
- 17) 森 大樹、島田光生、宇都宮 徹、居村 暁、森根裕二、池本哲也、花岡 潤、金本真美、岩橋衆一、斉藤裕、浅野間理仁、山田 眞一郎、三宅秀則  
新しい肝細胞癌適応基準(Up to Seven)はミラノに変わるか  
肝胆.2011.63(1):125-133
- 18) 居村 暁、島田光生、宇都宮 徹  
臓器別外科的治療最前線肝がん (肝移植も含む) がん治療レクチャー.2011.2(4):872-880
- 19) Kim C, Aono S, Wada H, Kobayashi S, Eguchi H, Takeda Y, Tanemura M, Okumura N, Takao T, Doki Y, Mori M, Nagano H.  
Significance of Alanine Aminopeptidase N (APN) in Bile in the Diagnosis of Acute Cellular Rejection After Liver Transplantation  
J Surg Res.2011:1-11
- 20) Marubashi S, Nagano H, Wada H, Kobayashi S, Eguchi H, Takeda H, Tanemura M, Doki Y, Mori  
Donor Hepatectomy for Living Donor Liver Transplantation: Learning Steps and Surgical Outcome  
Dig Dis Sci.2011.56(8):2482-2490
- 21) Marubayashi S, Nagano H, Wada H, Kobayashi S, Eguchi H, Takeda Y, Tanemura M, Umeshita K, Doki Y, Mori M.  
Clinical Significance of Alpha-Fetoprotein mRNA in Peripheral Blood in Liver Resection for Hepatocellular Carcinoma  
Ann Surg Oncol.2011.18(8):2200-2209
- 22) Kobayashi S, Nagano H, Marubashi, Wada H, Takeda Y, Eguchi Tanemura M, S, Umeshita K, Doki Y, Mori M.  
Successful adult ABO incompatible living donor liver transplantation :Experience with double infusion through the hepatic artery and portal vein.  
Hepatogastro.2011.58(106):503-507
- 23) Marubashi S, Dono K, Nagano H, Kobayashi S, Takeda Y, Umeshita K, Monden M, Mori M.  
Efficacy of Minimal Dosage of Calcineurin Inhibitor for Living Donor Liver Transplant Recipients with Preoperative Renal Dysfunction.  
Hepatogastro.2011.58(106):508-511
- 24) Marubashi S, Wada H, Egushi H, Tanemura M, Umeshita K, Doki Y, Mori M, Nagano H.  
Once-Daily Prolonged-Release Tacrolimus in De Novo Liver Transplantation: A Single Center Cohort Study  
Hepatogastro.2011.14(59):115-116
- 25) 永野浩昭、丸橋繁、小林省吾、和田浩志、江英利、種村匡弘、梅下浩司、土岐祐一郎、森 正樹  
脳死肝移植の現状と問題点—これからの脳死移植—  
日消病誌.2011.108(5):735-742
- 26) Tanimoto Y, Tashiro H, Aikata H, Amano H, Oshita A, Kobayashi T, Kuroda S, Tazawa H, Takahashi S, Itamoto T, Chayama K, Ohdan H.  
Impact of Pegylated Interferon Therapy on Outcomes of Patients with Hepatitis C Virus-Related Hepatocellular Carcinoma After Curative Hepatic Resection  
Ann Surg Oncol.2012.19(2):418-425
- 27) Kawamoto T, Aikata H, Miyaki D, Murakami E, Azakami T, Takaki S, Nagaoki Y, Hashimoto Y, Katamura Y, Hiramatsu A, Waki K, Hiraga N, Miki D, Tsuge M, Imamura M, Kawakami Y, Takahashi S, Oshi H, Tashiro H, Ohdan H, Chayama K.  
Eradication of hepatitis C virus genotype 1 after liver transplantation by interferon therapy before surgery: Report of three patients with analysis of interleukin-28 polymorphism, hepatitis C virus core region and interferon-sensitivity determining region  
Hepatol Res.2011.41(11):1126-1131
- 28) Kawaoka T, Aikata H, Hiramatsu A, waki K, Hiraga N, Miki D, Tsuge M, Imamura Y, Kawakami S, Ochi H, Takahashi S, ohchi H, Tashiro H, Ohdan H, Chayama K.  
IL28B polymorphism may guide pegylated interferon plus ribavirin therapy even after curative treatment for hepatitis C virus-related

- hepatocellular carcinoma  
JViral Hepat.2011.18(10):211-18
- 29) Fujita F, Eguchi S, Tajima Y, Kanematsu T.  
Liver : Nonanatoical Resection  
Inbausya Surgical Oncology.2011:263-271
- 30) Takatsuki M, Eguchi S, Yamanouchi K, Hidaka , Soyama S, Kanematsu T.  
Technical refinements of bile duct division in living donor liver surgery  
J Hepatobiliary Pancreat Sci.2011.18(2):170-175
- 31) Eguchi S, Soyama A, Mergental H, van den Berg AP, Scheenstra R, Porte RJ, Slooff MJH.  
Honoring the contract with our patients: outcome after repeated re-transplantation of the liver  
Clin Transplant.2011.25(2): E 211-218
- 32) Eguchi S, Kanematsu T, Arii S, Omata M , Kudo M , Sakamoto M, Takayasu K , Makuuchi M, Matsuyama Y, Monden M; for the Liver Cancer Study Group of Japan  
Recurrence-free survival more than 10 years after liver resection for hepatocellular carcinoma  
Br J Surg.2011.98(4):552-557
- 33) Eguchi S, Takatsuki M, Hidaka M, Soyama A, Ishikawa T, Kanematsu T.  
Perioperative synbiotic treatment to prevent infectious complications in patients after elective living donor liver transplantation: a prospective randomized study  
Am J Surg.2011.201(4):498-502
- 34) Eguchi S, Soyama A, Hidaka M, Takatsuki M, Muraoka I, Tomonaga T, Kanematsu T.  
Liver Transplantation for Patients with Human Immunodeficiency Virus and Hepatitis C Virus Coinfection with Special Reference to Hemophiliac Recipients in Japan  
Surg Today.2011.41(10)1325-31
- 35) Soyama A, Eguchi S, Yanaga K, Takatsuki M, Hidaka M, Kanematsu T.  
Living Donor Liver Transplantation with Extensive Caval Thrombectomy for Acute-on-Chronic Budd–Chiari Syndrome  
Surg Today.2011.41(7):1026-1028
- 36) Eguchi S, Takatsuki M, Soyama A, Hidaka M, Tomonaga T, Muraoka I, Kanematsu T.  
Elective living donor liver transplantation by hybrid hand-assisted laparoscopic surgery and short upper midline laparotomy  
Surgery.2011.150(5):1002-1005
- 37) 西田聖剛、江口晋、曾山明彦、日高匡章、高槻光寿、高橋正浩、Andreas G.Tzakis、兼松隆之  
マイアミ大学でのHIV陽性患者に対する肝移植  
The journal of AIDS reseach.2011.13:137-144
- 38) 江口晋、高槻光寿、曾山明彦、村岡いづみ、原 貴信、兼松隆之  
後天性免疫不全症候群 ( AIDS )  
外科.2011.73(12):1282-1287
- 39) Taura N, Fukushima N, Yatsuhashi H, Takami Y, Seike M, Watanabe H, Mizuta T, Sasaki Y, Nagata K, Tabara A, Komorizono S, Taketomi A,  
Matsumoto S, Tamai T, Muro T, Nakao K, Fukuizumi K, Maeshiro T, Inoue O, Sata M.  
The incidence of hepatocellular carcinoma associated with hepatitis C infection decreased in Kyushu area.  
Med Sci Monit.2011.17(2): PH7-11
- 40) Kawaguchi T, Kakuma T, Yatsuhashi H, Watanabe H, Saitsu H, Nakao K, Taketomi A, Ohta S, Tabaru A, Takenaka K, Mizuta T, Nagata K, Komorizono Y, Fukuizumi K, Seike M, Matsumoto S, Maeshiro T, Tsubouchi H, Muro T, Inoue O, Akahoshi M, Sata M.  
Data mining reveals complex interactions of risk factors and clinical feature profiling associated with the staging of non-hepatitis B virus/non-hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma  
hepr\_799 564..571  
Hepatology Research.2011.41(6):564-571
- 41) Motomura T, Koga E, Taketomi A, Fukuhara T, Mano Y, Muto J, Konishi H, Toshima T, Uchiyama H, Yoshizumi T, Shirabe K, Maehara Y.  
Efficacy of splenectomy in preventing anemia in patients with recurrent hepatitis C following liver transplantation is not dependent on inosine triphosphate pyrophosphatase genotype  
Hepatol Res.2012.42:288-295
- 42) Yoshizumi T, Ikegami T, Yoshiya S, Motomura T, Mano Y, Muto J, Ikeda T, Soejima Y, Shirabe K, Maehara Y.  
Impact of tumor size, number of tumors and neutrophil-lymphocyte ratio in liver transplantation for recurrent hepatocellular carcinoma  
Hepatol Res. 2012 Epub ahead of print.
- 43) Ikegami T, Shirabe K, Fukuhara T, Furusyo N, Kotoh K, Kato M, Shimoda S, Aishima S, Soejima Y, Yoshizumi T, Maehara Y.  
Early extensive viremia, but not rs8099917 genotype, is the only predictor for cholestatic hepatitis C after living-donor liver transplantation.  
Hepatol Res. 2012 Nov 7.
- 44) Motomura T, Shirabe K, Mano Y, Muto J, Toshima T, Umemoto Y, Fukuhara T, Uchiyama H, Ikegami T, Yoshizumi T, Soejima Y, Maehara Y.  
Neutrophil-lymphocyte ratio reflects hepatocellular carcinoma recurrence after liver transplantation via inflammatory microenvironment.  
J Hepatol. 2013 Jan;58(1):58-64.
- 45) Ikegami T, Shirabe K, Matono R, Yoshizumi T, Soejima Y, Uchiyama H, Kayashima H, Morita K, Maehara Y.  
Etiologies, risk factors, and outcomes of bacterial pneumonia after living donor liver transplantation.  
Liver Transpl. 2012 Sep;18(9):1060-8.

- 46) Ikegami T, Shirabe K, Yoshizumi T, Yoshiya S, Toshima T, Motomura T, Soejima Y, Uchiyama H, Maehara Y.  
En bloc stapling division of the gastroesophageal vessels controlling portal hemodynamic status in living donor liver transplantation.  
J Am Coll Surg. 2012 Jun;214(6):e53-6.
- 47) Ikegami T, Shirabe K, Yoshizumi T, Aishima S, Taketomi YA, Soejima Y, Uchiyama H, Kayashima H, Toshima T, Maehara Y.  
Primary graft dysfunction after living donor liver transplantation is characterized by delayed functional hyperbilirubinemia.  
Am J Transplant. 2012 Jul;12(7):1886-97.
- 48) Yoshizumi T, Shirabe K, Ikegami T, Kayashima H, Yamashita N, Morita K, Masuda T, Hashimoto N, Taketomi A, Soejima Y, Maehara Y.  
Impact of human T cell leukemia virus type 1 in living donor liver transplantation.  
Am J Transplant. 2012 Jun;12(6):1479-85.
- 49) Soejima Y, Shirabe K, Taketomi A, Yoshizumi T, Uchiyama H, Ikegami T, Ninomiya M, Harada N, Ijichi H, Maehara Y.  
Left lobe living donor liver transplantation in adults.  
Am J Transplant. 2012 Jul;12(7):1877-85.
- 50) Yoshizumi T, Shirabe K, Taketomi A, Uchiyama H, Harada N, Ijichi H, Yoshimatsu M, Ikegami T, Soejima Y, Maehara Y.  
Risk factors that increase mortality after living donor liver transplantation.  
Transplantation. 2012 Jan 15;93(1):93-8.
- 51) Arakawa Y, Shimada M, Utsunomiya T, Imura S, Morine Y, Ikemoto T, Hanaoka J.  
Effects of a whey peptide-based enteral formula diet on liver dysfunction following living donor liver transplantation. Surg Today 2013 Epub ahead of print
- 52) Arakawa Y, Shimada M, F.A.C.S., Utsunomiya T, Imura S, Morine Y, Ikemoto T.  
Effects of pegylated interferon  $\alpha 2b$  on metastasis of hepatocellular carcinoma.  
J Surg Res 2012 172:95-101
- 53) Imura S, Shimada M, Saito Y, Iwahashi S, Hanaoka J, Mori H, Ikemoto T, Morine Y, Utsunomiya T.  
Successful case with hemophagocytic syndrome after living donor liver transplantation.  
Hepatogastro-enterology 2012 59:863-5
- 54) Sugawara Y, Tamura S, Yamashiki N, Kaneko J, Aoki T, Sakamoto Y, Hasegawa K, Kokudo N.  
Preemptive antiviral treatment for hepatitis C virus after living donor liver transplantation.  
Transplant Proc 2012 44(3):791-3
- 55) Marubashi S, Wada H, Kobayashi S, Eguchi H, Tanemura M, Umeshita K, Doki Y, Mori M, Nagano H.  
Once-daily prolonged-release tacrolimus in de novo liver transplantation: a single center cohort study.  
Hepatogastroenterology. 2012 59(116):1184-1188
- 56) Kim C, Aono S, Marubashi S, Wada H, Kobayashi S, Eguchi H, Takeda Y, Tanemura M, Okumura N, Takao T, Doki Y, Mori M, Nagano H.  
Significance of Alanine Aminopeptidase N (APN) in Bile in the Diagnosis of Acute Cellular Rejection After Liver Transplantation.  
J Surg Res 2012 175(1):138-148
- 57) Oshima G, Shinoda M, Tanabe M, Masugi Y, Ueno A, Takano K, Kitago M, Itano O, Kawachi S, Ohara K, Oda M, Tanimoto A, Sakamoto M, Kitagawa Y.  
Primary hepatic cancers with multiple pathological features in a patient with hepatitis C: report of case.  
Int Surg. 2012 97(1):17-22
- 58) Umeda R, Nakamura Y, Masugi Y, Shinoda M, Hosoe N, Ono Y, Fujimura T, Yamagishi Y, Higuchi H, Ebinuma H, Hozawa S, Tanabe M, Hashimoto S, Sakamoto M, Kitagawa Y, Hibi T.  
Hemobilia due to biliary intraepithelial neoplasia Associated with Zollinger-Ellison syndrome.  
Clin J Gastroenterol 2012 5(3):189-194
- 59) Ono Y, Hayashida T, Konagai A, Okazaki H, Miyao K, Kawachi S, Tanabe M, Shinoda M, Jinno H, Hasegawa H, Kitajima M, Kitagawa Y.  
Direct inhibition of the transforming growth factor- pathway by protein-bound polysaccharide through inactivation of Smad2 signaling.
- 60) Shimada M, Tanabe M, Kawachi S, Itano O, Obara H, Hibi T, Matsubara K, Shimojima N, Fuchimoto Y, Hoshino K, Wakabayashi G, Shimazu M, Morikawa Y, Kitajima M, Kitagawa Y.  
Risk factor analysis and procedural modification for biliary stricture after adult living donor liver transplantation.  
Eur Surg 2012 44(4):267-273
- 61) Oshima G, Shinoda M, Tanabe M, Ebinuma H, Nishiyama R, Takano K, Yamada S, Miyasho T, Masugi Y, Matsuda S, Suda K, Fukunaga K, Matsubara K, Hibi T, Yagi H, Hayashida T, Yamagishi Y, Obara H, Itano O, Takeuchi H, Kawachi S, Saito H, Hibi T, Maruyama I, Kitagawa Y.  
Increased plasma levels of high mobility group box 1 in patients with acute liver failure.  
Eur Surg Res 2012 48(3):154-162

- 62) Shinoda M, Tanabe M, Kawachi S, Ono Y, Hayakawa T, Iketani O, Kojima M, Itano O, Obara O, Kitago M, Hibi H, Matsubara K, Shimojima N, Fuchimoto Y, Hoshino K, Wakabayashi G, Shimazu M, Tanigawara Y, Kuroda T, Morikawa Y, Kitajima M, Kitagawa Y. Pharmacokinetics of mizoribine in adult living donor liver transplantation. *Transplant Proc* 2012 44(5):1329-1335
- 63) Ono S, Obara H, Takayanagi A, Tanabe M, Kawachi S, Itano O, Shinoda M, Kitago M, Hibi T, Chiba T, Du W, Matsumoto K, Tilles AW, Yarmush ML, Aiso S, Shimizu N, Sakamoto M, Kitagawa Y. Suppressive effects of Interleukin-18 on liver function in rat liver allografts. *J Surg Res* 2012 176(1): 293-300
- 64) Shinoda M, Tanabe M, Nagao K, Kitago M, Fujisaki H, Odaira M, Kawachi S, Itano O, Obara H, Matsubara K, Shimojima N, Fuchimoto Y, Hoshino K, Amagai M, Kuroda T, Kitagawa Y. Discontinuation of living donor liver transplantation due to donor's intraoperative latex-induced anaphylactic shock. *Int Surg* 2012 97:356-359
- 65) 西山亮, 相浦浩一, 北郷実, 篠田昌宏, 板野理, 河地茂行, 田邊稔, 上田政和, 真杉洋平, 坂元亨宇, 北川雄光. 術前化学放射線療法後臍頭十二指腸切除術を施行し, 長期生存を認めた腹膜播種によるStage IVb臍頭癌の1例. *臍臓* 2012 27(1): 62-68
- 66) 八木洋, 北川雄光. 脱細胞化肝骨格を用いた肝臓再生. *G.I.Research* 2012 20(2): 152-157
- 67) 篠田昌宏, 田邊稔, 須田康一, 竹内裕也, 北川雄光 Alarmin (HMGB1) など 代表的Alarmin, HMGB1研究の今. *日本外科感染症学会雑誌* 2012 9(4): 335-341
- 68) 河地茂行, 田邊稔, 島津元秀, 若林剛, 板野理, 尾原秀明, 篠田昌宏, 北郷実, 八木洋, 日比泰造, 松原健太郎, 星野健, 淵本康史, 下島直樹, 森川康英, 北島政樹, 黒田達夫, 北川雄光. 胆管合併症(成人). *肝移植医療フォーラム10周年記念誌 生体肝移植 難渋例への挑戦* 2012 1Ed. pp.13-15
- 69) 富田紘史, 星野健, 淵本康史, 加藤源俊, 狩野元宏, 藤村匠, 有末篤弘, 高里文香, 下島直樹, 松原健太郎, 八木洋, 北郷実, 篠田昌宏, 尾原秀明, 板野理, 河地茂行, 田邊稔, 杜雲林, 坂元亨宇, 若林剛, 島津元秀, 森川康英, 北島政樹, 北川雄光, 黒田達夫. 抗ドナ-抗体と拒絶反応. *肝移植医療フォーラム10周年記念誌 生体肝移植 難渋例への挑戦* 2012 1Ed. pp.19-21
- 70) 三原規奨, 田邊稔, 河地茂行, 板野理, 尾原秀明, 篠田昌宏, 北郷実, 八木洋, 日比泰造, 松原健太郎, 藤崎洋人, 西山亮, 下島直樹, 淵本康史, 星野健, 若林剛, 島津元秀, 森川康英, 北島政樹, 黒田達夫, 北川雄光. PTLD. *肝移植医療フォーラム10周年記念誌 生体肝移植 難渋例への挑戦* 2012 1Ed. pp.38-40
- 71) Shimada S, Kamiyama T, Yokoo H, Wakayama K, Tsuruga Y, Kakisaka T, Kamachi H, Taketomi A. Clinicopathological characteristics and prognostic factors in young patients after hepatectomy for hepatocellular carcinoma. *World J Surg Oncol* 2013 11
- 72) Okada T, Honda S, Miyagi H, Minato M, Taketomi A. Hepatic osteodystrophy complicated with bone fracture in early infants with biliary atresia. *World J Hepatol.* 2012 4:284-7
- 73) Kamiyama T, Yokoo H, Furukawa JI, Kuroguchi M, Togashi T, Miura N, Nakanishi K, Kamachi H, Kakisaka T, Tsuruga Y, Fujiyoshi M, Taketomi A, Nishimura SI, Todo S. Identification of novel serum biomarkers of hepatocellular carcinoma using glycomic analysis. *Hepatology.* 2013
- 74) Kawamata F, Kamachi H, Einama T, Homma S, Tahara M, Miyazaki M, Tanaka S, Kamiyama T, Nishihara H, Taketomi A, Todo S. Intracellular localization of mesothelin predicts patient prognosis of extrahepatic bile duct cancer. *Int J Oncol.* 2012 41:2109-18
- 75) Taketomi A, Shirabe K, Muto J, Yoshiya S, Motomura T, Mano Y, Ikegami T, Yoshizumi T, Sugio K, Maehara Y. A rare point mutation in the Ras oncogene in hepatocellular carcinoma. *Surg Today.* 2012 43:289-92
- 76) Kamiyama T, Nakanishi K, Yokoo H, Kamachi H, Tahara M, Kakisaka T, Tsuruga Y, Todo S, Taketomi A. Analysis of the risk factors for early death due to disease recurrence or progression within 1 year after hepatectomy in patients with hepatocellular carcinoma. *World J Surg Oncol.* 2012
- 77) Einama T, Homma S, Kamachi H, Kawamata F, Takahashi K, Takahashi N, Taniguchi M, Kamiyama T, Furukawa H, Matsuno Y, Tanaka S, Nishihara H, Taketomi A, Todo S. Luminal membrane expression of mesothelin is a prominent poor prognostic factor for gastric cancer. *Br J Cancer.* 2012 107:137-42
- 78) Taketomi A, Shirabe K, Toshima T, Morita K,



- Hashimoto N, Kayashima H, Ikegami T, Yoshizumi T, Soejima Y, Maehara Y.  
The long-term outcomes of patients with hepatocellular carcinoma after living donor liver transplantation: a comparison of right and left lobe grafts.  
*Surg Today*. 2012 42:559-64
- 79) Takeichi T, Asonuma K, Yamamoto H, Ohya Y, Okumura K, Lee KJ, Inomata Y.  
Liver Transplant From an ABO-Incompatible and Hepatitis C Antibody-Positive but an HCV-RNA Negative Living Donor in a Familial Amyloid Polyneuropathy Patient.  
*Exp Clin Transplant* 2012 Epub ahead of print.
- 80) Takeichi T, Narita Y, Lee KJ, Yamamoto H, Asonuma K, Inomata Y.  
Sclerosing encapsulating peritonitis after living donor liver transplantation: a case successfully treated with tamoxifen: report of a case.  
*Surg Today* 2012 Epub ahead of print.
- 81) Eguchi S, Hidaka M, Soyama A, Takatsuki M, Miyaaki H, Ichikawa T, Nakao K, Kanematsu T.  
Is liver-targeted FOXp3 staining beneficial after living-donor liver transplantation?  
*Transplant Infectious Disease* 2012 14(2): 156-162
- 82) Eguchi S, Takatsuki M, Soyama A, Hidaka M, Muraoka I, Kanematsu T.  
Use of a stepwise versus straightforward clamping biliary drainage tube after living donor liver transplantation: a prospective, randomized trial.  
*Journal of Hepato - Biliary -Pancreatic Sciences* 2012 19(4):379-381
- 83) Kinoshita A, Takatsuki M, Hidaka M, Soyama A, Eguchi S, Kanematsu T.  
Prevention of gastric stasis by omentum patching after living donor left hepatectomy.  
*Surgery Today* 2012 42(8):816-818
- 84) Soyama A, Takatsuki M, Hidaka M, Muraoka I, Tanaka T, Yamaguchi I, Kinoshita A, Hara T, Eguchi S.  
Standardized less invasive living donor hemihepatectomy using the hybrid method through a short upper midline incision.  
*Transplantation Proceedings* 2012 44(2):353-355
- 85) Hidaka M, Takatsuki M, Soyama A, Tanaka T, Muraoka I, Hara T, Kuroki T, Kanematsu T, Eguchi S  
Intraoperative portal venous pressure and long-term outcome after curative resection for hepatocellular carcinoma.  
*British Journal of Surgery* 2012 99(9): 1284-1289
- 86) Mochizuki K, Takatsuki M, Soyama A, Hidaka M, Obatake M, Eguchi S.  
The usefulness of a high-speed 3D-image analysis system in pediatric living donor liver transplantation.  
*Annals of Transplantation* 2012 17(1):31-34
- 87) Inoue Y, Soyama A, Takatsuki M, Hidaka M, Muraoka I, Kanematsu T, Eguchi S.  
Acute kidney injury following living donor liver transplantation.  
*Clinical Transplantation* 2012 26(5):E530-535
- 88) 高槻光寿、江口 晋、曾山明彦、兼松隆之、中尾一彦、白阪琢磨、山本政弘、湯永博之、立川夏夫、釘山有希、八橋 弘、市田隆文、國土典宏  
血液製剤によるHIV-HCV重複感染者の予後—肝移植適応に関する考察—  
*肝臓* 2012 53(10):586-590
- 89) 曾山明彦、江口 晋、高槻光寿、日高匡章、村岡いづみ、兼松隆之  
HIV-HCV重複感染患者における肝予備能評価の重要性  
*肝臓* 2012 53(7):403-408
- 90) Furukawa H, Taniguchi M, Fujiyoshi M, Oota M; Japanese Study Group of Liver Transplantation.  
Experience using extended criteria donors in first 100 cases of deceased donor liver transplantation in Japan.  
*Transplant Proc.* 2012 44 ( 2 ) :373-5
- 91) Oura T, Yamashita K, Suzuki T, Fukumori D, Watanabe M, Hirokata G, Wakayama K, Taniguchi M, Shimamura T, Miura T, Okimura K, Maeta K, Haga H, Kubota K, Shimizu A, Sakai F, Furukawa H, Todo S.  
Long-term hepatic allograft acceptance based on CD40 blockade by ASKP1240 in nonhuman primates.  
*Am J Transplant.* 2012 12(7):1740-54
- 92) Wakayama K, Fukai M, Yamashita K, Kimura T, Hirokata G, Shibasaki S, Fukumori D, Haga S, Sugawara M, Suzuki T, Taniguchi M, Shimamura T, Furukawa H, Ozaki M, Kamiyama T, Todo S.  
Successful transplantation of rat hearts subjected to extended cold preservation with a novel preservation solution.  
*Transpl Int.* 2012 25 ( 6 ) :696-706
- 93) Kawaoka T, Takahashi S, Takaki S, Hiramatsu A, Waki K, Hiraga N, Miki D, Tsuge M, Imamura M, Kawakami Y, Aikata H, Ochi H, Onoe T, Tashiro H, Ohdan H, Chayama K.  
Interleukin-28B single nucleotide polymorphism of donors and recipients can predict viral response to pegylated interferon/ribavirin therapy in patients with recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation.  
*J Gastroenterol Hepatol* 2012 27(9):1467-1472
- 94) Kawaoka T, Hiraga N, Takahashi S, Takaki S, Tsuge M, Nagaoki Y, Hashimoto Y, Katamura Y, Miki D, Hiramatsu A, Waki K, Imamura M, Kawakami Y, Aikata H, Ochi H, Tashiro H, Ohdan H, Chayama K.  
Achievement of sustained viral response after switching treatment from pegylated interferon  $\alpha$ -2b to  $\alpha$ -2a and ribavirin in patients with recurrence of hepatitis C virus genotype 1

- infection after liver transplantation: a case report.  
Intervirology. 2012 55(4):306-310
- 95) Masuda T, Shirabe K, Ikegami T, Harimoto N, Yoshizumi T, Soejima Y, Uchiyama H, Ikeda T, Baba H, Maehara Y.  
Sarcopenia is a prognostic factor in living donor liver transplantation.  
Liver Transpl. 2013. Epub ahead of print.
- 96) Yoshizumi T, Ikegami T, Toshima T, Harimoto N, Uchiyama H, Soejima Y, Yamashita Y, Shirabe K, Maehara Y.  
Two-step selection criteria for living donor liver transplantation in patients with hepatocellular carcinoma.  
Transplant Proc. 2013. 45(9):3310-3
- 97) Ikegami T, Maehara Y.  
Transplantation: 3D printing of the liver in living donor liver transplantation.  
Nat Rev Gastroenterol Hepatol. 2013. 10(12):697-8
- 98) Harimoto N, Shirabe K, Nakagawara H, Toshima T, Yamashita Y, Ikegami T, Yoshizumi T, Soejima Y, Ikeda T, Maehara Y.  
Prognostic factors affecting survival at recurrence of hepatocellular carcinoma after living-donor liver transplantation: with special reference to neutrophil/lymphocyte ratio.  
Transplantation. 2013. 96(11): 1008-12
- 99) Harimoto N, Shirabe K, Yamashita Y, Ikegami T, Yoshizumi T, Soejima Y, Ikeda T, Maehara Y, Nishie A, Yamanaka T.  
Sarcopenia as a predictor of prognosis in patients following hepatectomy for hepatocellular carcinoma.  
Br J Surg. 2013. 100(11): 1523-30
- 100) Yamashita Y, Shirabe K, Tsujita E, Takeishi K, Ikegami T, Yoshizumi T, Soejima Y, Ikeda T, Utsunomiya T, Maehara Y.  
Third or more repeat hepatectomy for recurrent hepatocellular carcinoma.  
Surgery. 2013. 154(5): 1038-45
- 101) Mano Y, Shirabe K, Yamashita Y, Harimoto N, Tsujita E, Takeishi K, Aishima S, Ikegami T, Yoshizumi T, Yamanaka T, Maehara Y.  
Preoperative neutrophil-to-lymphocyte ratio is a predictor of survival after hepatectomy for hepatocellular carcinoma: a retrospective analysis.  
Ann Surg. 2013. 258(2): 301-5
- 102) Toshima T, Shimada M, Ikegami T, Utsunomiya T, Ikemoto T, Morine Y, Yoshizumi T, Soejima Y, Shirabe K, Maehara Y.  
Fairly rare spontaneous disappearance of a hepatic artery aneurysm following living donor liver transplantation.  
Liver Transpl. 2013. 19(8): 929-30
- 103) Ikegami T, Shirabe K, Nakagawara H, Yoshizumi T, Toshima T, Soejima Y, Uchiyama H, Yamashita Y, Harimoto N, Maehara Y.  
Obstructing spontaneous major shunt vessels is mandatory to keep adequate portal inflow in living-donor liver transplantation.  
Transplantation. 2013. 95(10): 1270-7
- 104) Yamashita Y, Shirabe K, Toshima T, Tsujita E, Takeishi K, Harimoto N, Ikegami T, Yoshizumi T, Ikeda T, Soejima Y, Maehara Y.  
Risk factors for recurrence after curative resection of hepatitis C-related hepatocellular carcinoma in patients without postoperative interferon therapy  
Hepatol Res. 2013. 43(12): 1313-20
- 105) Ikegami T, Shirabe K, Yoshizumi T, Furusyo N, Kotoh K, Kato M, Shimoda S, Soejima Y, Motomura T, Fukuhara T, Maehara Y.  
Impact of conversion from pegylated interferon- $\alpha$ 2b to interferon- $\alpha$ 2a for treating recurrent hepatitis C after liver transplantation.  
Transplantation. 2013. 95(6): e38-42
- 106) Yoshiya S, Shirabe K, Matsumoto Y, Ikeda T, Soejima Y, Yoshizumi T, Uchiyama H, Ikegami T, Harimoto N, Maehara Y.  
Rendezvous ductoplasty for biliary anastomotic stricture after living-donor liver transplantation.  
Transplantation. 2013. 95(10): 1278-83
- 107) Ikegami T, Shirabe K, Yoshiya S, Yoshizumi T, Yamashita Y, Harimoto N, Toshima T, Uchiyama H, Soejima Y, Maehara Y.  
A high MELD score, combined with the presence of hepatitis C, is associated with a poor prognosis in living donor liver transplantation.  
Surg Today. 2013. 44(2): 233-40
- 108) Kayashima H, Shirabe K, Morita K, Hashimoto N, Ikegami T, Yoshizumi T, Soejima Y, Maehara Y.  
Liver regeneration and venous collateral formation in the right lobe living-donor remnant: segmental volumetric analysis and three-dimensional visualization.  
Transplantation. 2013. 95(2): 353-60
- 109) Ikegami T, Shirabe K, Soejima Y, Yoshizumi T, Uchiyama H, Yamashita Y, Harimoto N, Toshima T, Yoshiya S, Ikeda T, Maehara Y.  
Strategies for successful left-lobe living donor liver transplantation in 250 consecutive adult cases in a single center.  
J Am Coll Surg. 2013. 216(3): 353-62
- 110) Ikegami T, Shirabe K, Yoshiya S, Soejima Y, Yoshizumi T, Uchiyama H, Toshima T, Motomura T, Maehara Y.  
One-step reconstruction of the right inferior hepatic veins using auto-venous grafts in living-donor liver transplantation.  
Surg Today. 2013. 43(7): 769-76
- 111) Yoshizumi T, Ikegami T, Yoshiya S, Motomura T, Mano Y, Muto J, Ikeda T, Soejima Y, Shirabe K, Maehara Y.

- Impact of tumor size, number of tumors and neutrophil-to-lymphocyte ratio in liver transplantation for recurrent hepatocellular carcinoma. *Hepatol Res.* 2013. 43(7): 709-16
- 112) Ikegami T, Shirabe K, Fukuhara T, Furusyo N, Kotoh K, Kato M, Shimoda S, Aishima S, Soejima Y, Yoshizumi T, Maehara Y.  
Early extensive viremia, but not rs8099917 genotype, is the only predictor for cholestatic hepatitis C after living-donor liver transplantation. *Hepatol Res.* 2013. 43(6): 621-9
- 113) Ijichi H, Shirabe K, Taketomi A, Yoshizumi T, Ikegami T, Mano Y, Aishima S, Abe K, Honda H, Maehara Y.  
Clinical usefulness of (18) F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography/computed tomography for patients with primary liver cancer with special reference to rare histological types, hepatocellular carcinoma with sarcomatous change and combined hepatocellular and cholangiocarcinoma. *Hepatol Res.* 2013.43(5): 481-7
- 114) Matsumoto Y, Ikegami T, Morita K, Yoshizumi T, Kayashima H, Shirabe K, Maehara Y.  
Renoportal anastomosis in right lobe living donor liver transplantation: report of a case. *Surg Today.* 2013. 43(11): 1316-20
- 115) Masuda T, Shirabe K, Yoshiya S, Matono R, Morita K, Hashimoto N, Ikegami T, Yoshizumi T, Baba H, Maehara Y.  
Nutrition support and infections associated with hepatic resection and liver transplantation in patients with chronic liver disease. *JPEN J Parenter Enteral Nutr.* 2013.37(3): 318-26
- 116) Takeichi T, Asonuma K, Yamamoto H, Ohya Y, Okumura K, Lee K, Inomata Y.  
Liver transplant from an ABO-incompatible and hepatitis C antibody-positive but an HCV-RNA negative living donor in a familial amyloid polyneuropathy patient. *Exp. Clin Transplant.* 2013. 11(2): 182-185
- 117) Ueno T, Wada M, Hoshino K, Sakamoto S, Furukawa H, Fukuzawa M.  
A national survey of patients with intestinal motility disorders who are potential candidates for intestinal transplantation in Japan. *Proc Transplant.* 2013. 45(5): 2029-31
- 118) Sakurai T, Wada N, Takahashi Y, Ichikawa A, Ikuta A, Furumaki H, Hui SP, Jin S, Takeda S, Fuda H, Fujikawa M, Shimizu C, Nagasaka H, Furukawa H, Kobayashi S, Chiba H.  
Immunological detection of large oxidized lipoproteins in hypertriglyceridemic serum. *Ann Clin Biochem.* 2013. 50(Pt 5): 465-72
- 119) Ueno T, Wada M, Hoshino K, Uemoto S, Taguchi T, Furukawa H, Fukuzawa M.  
Impact of pediatric intestinal transplantation on intestinal failure in Japan: findings based on the Japanese intestinal transplant registry. *Pediatr Surg Int.* 2013. 29(10): 1065-7
- 120) Kato K, Taniguchi M, Iwasaki Y, Sasahara K, Nagase A, Onodera K, Matsuda M, Higuchi M, Kobashi Y, Furukawa H.  
Computed Tomography (CT) Venography Using a Multidetector CT Prior to the Percutaneous External Jugular Vein Approach for an Implantable Venous-Access Port. *J Invest Surg.* 2013. 21(4): 1391-7
- 121) Kato K, Taniguchi M, Iwasaki Y, Sasahara K, Nagase A, Onodera K, Matsuda M, Higuchi M, Nakano M, Kobashi Y, Furukawa H.  
Central Venous Access via External Jugular Vein with CT-Venography Using a Multidetector Helical 16-Section CT. *J Invest Surg.* 2013.
- 122) Sakatani A, Fujiya M, Ito T, Inaba Y, Ueno N, Kashima S, Tominaga M, Moriichi K, Okamoto K, Tanabe H, Ikuta K, Ohtake T, Kono T, Furukawa H, Ashida T, Kohgo Y.  
Infliximab extends the duration until the first surgery in patients with Crohn's disease. *Biomed Res Int.* 2013.
- 123) Ebisawa Y, Chisato N, Okayama T, Tani C, Kono T, Taniguchi M, Furukawa H.  
Long-term survival of a patient with advanced colon cancer and para-aortic lymph node metastases treated with re-administration of high-dose molecular targeted agent bevacizumab. *Gan To Kagaku Ryoho.* 2013. 40(10): 1401-4
- 124) Egawa H, Nishimura K, Teramukai S, Yamamoto M, Umeshita K, Furukawa H, Uemoto S.  
Risk factors for alcohol relapse after liver transplantation for alcoholic cirrhosis in Japan. *Liver Transpl.* 2014. 20(3): 298-310
- 125) Nakahashi S, Furukawa H, Shimamura T, Todo S, Gando S.  
APRV in patients with atelectasis after liver transplantation. *Anaesth Intensive Care.* 2014. 42(1): 138-40
- 126) Kubo S, Uemoto S, Furukawa H, Umeshita K, Tachibana D  
the Japan Liver Transplantation Society. Pregnancy outcomes after living donor liver transplantation: Results from a Japanese survey. *Liver Transpl.* 2014.
- 127) Watanabe K, Karasaki H, Mizukami Y, Kawamoto T, Kono T, Imai K, Einama T, Taniguchi M, Kohgo Y, Furukawa H.  
Cyst infection of intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas: management of a rare complication report of 2 cases. *Pancreas.* 2014. 43(3): 478-81

- 128) Genda T, Ichida T, Sakisaka S, Sata M, Tanaka E, Inui A, Egawa H, Umeshita K, Furukawa H, Kawasaki S, Inomata Y.  
Waiting list mortality of patients with primary biliary cirrhosis in the Japanese transplant allocation system.  
J Gastroenterol. 2013. 49(2): 324-31
- 129) Shiba H, Wakiyama S, Futagawa Y, Gocho T, Ito R, Furukawa K, Ishida Y, Misawa T, Yanaga K.  
Switching from tacrolimus to cyclosporine A for primary biliary cirrhosis recurrence after living-donor liver transplantation.  
Int Surg 2013;98(2):156-9.
- 130) Urano E, Yamanaka-Okamura H, Teramoto A, Sigihara K, Morine Y, Imura S, Utsunomiya T, Shimada M, Takeda E.  
Pre- and postoperative nutritional assessment and health-related quality of life in recipients of living donor liver transplantation.  
Hepatol Res. 2013. Epub ahead of print.
- 131) Arakawa Y, Shimada M, Utsunomiya T, Imura S, Morine Y, Ikemoto T, Hanaoka J.  
Effects of a whey peptide-based enteral formula diet on liver dysfunction following living donor liver transplantation.  
Surg Today. 2014. 44:44-49
- 132) Matsumoto K, Miyake Y, Umeda Y, Matsushita H, Matsuda H, Takaki A, Sadamori H, Nouse K, Yagi T, Fujiwara T, Yamamoto K  
Serial changes of serum growth factor levels and liver regeneration after partial hepatectomy in healthy humans.  
Int J Mol Sci. 2013. 14: 20877-89
- 133) Utsumi M, Umeda Y, Sadamori H, Nagasaka T, Takaki A, Matsuda H, Shinoura S, Yoshida R, Nobuoka D, Satoh D, Fuji T, Yagi T, Fujiwara T  
Risk factors for acute renal injury in living donor liver transplantation: evaluation of the RIFLE criteria.  
Transpl Int. 2013. 26: 842-52
- 134) Yagi T, Nobuoka D, Shinoura S, Umeda Y, Sato D, Yoshida R, Utsumi M, Fuji T, Sadamori H, Fujiwara T  
First successful case of simultaneous liver and kidney transplantation for patients with chronic liver and renal failure in Japan.  
Hepatol Res. 2013. (in press): doi: 10.1111/hepr.12122
- 135) Takaki A, Yagi T, Yasunaka T, Sadamori H, Shinoura S, Umeda Y, Yoshida R, Sato D, Nobuoka D, Utsumi M, Yasuda Y, Nakayama E, Miyake Y, Ikeda F, Shiraha H, Nouse K, Fujiwara T, Yamamoto K.  
Which patients respond best to hepatitis B vaccination after a hepatitis B virus-related liver transplantation?  
J Gastroenterol. 2013. 48: 1373-83
- 136) Sadamori H, Yagi T, Shinoura S, Umeda Y, Yoshida R, Satoh D, Nobuoka D, Utsumi M, Fujiwara T.  
New surgical approach to large splenorenal shunt in living donor liver transplantation: diversion of SMV and SPV blood flow.  
J Gastrointest. 2013. 17: 403-7
- 137) Marubashi S, Wada H, Kawamoto K, Kobayashi S, Eguchi H, Doki Y, Mori M, Nagano H,  
Laparoscopy-assisted hybrid left-side donor hepatectomy.  
World J Surg. 2013. 37(9): 2202-2210
- 138) Kobayashi S, Wada H, Hama N, Akita H, Kawamoto K, Eguchi H, Umeshita K, Doki Y, Mori M, Nagano H  
Evaluation of safety parameters and changes in serum concentration in liver transplant recipients treated with doxorubicin during the anhepatic period.  
Cancer Chemother Pharmacol. 2013. 72(6): 1325-1333
- 139) Marubashi S, Kobayashi S, Wada H, Kawamoto K, Eguchi H, Doki Y, Mori M, Nagano H.  
Hepatic artery reconstruction in living donor liver transplantation: risk factor analysis of complication and a role of MDCT scan for detecting anastomotic stricture.  
World J Surg. 2013. 37(11): 2671-2677
- 140) Egawa H, Teramukai S, Haga H, Tanabe M, Mori A, Ikegami T, Kawagishi N, Ohdan H, Kasahara M, Umeshita K.  
Impact of Rituximab Desensitization on Blood-Type-Incompatible Adult Living Donor Liver Transplantation: A Japanese Multicenter Study.  
Am J Transplant. 2014. 14(1): 102-114.
- 141) Tatsukawa Y, Takahashi S, Kawaoka T, Hiramatsu A, Hiraga N, Miki D, Tsuge M, Imamura M, Kawakami Y, Aikata H, Ochi H, Ishiyama K, Ide K, Tashiro H, Ohdan H, Chayama K.  
Two patients treated with PEGIFN/RBV/TVR triple therapy for recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation.  
Hepatol Res. 2014. Epub ahead of print
- 142) Onoe T, Tanaka Y, Ide K, Ishiyama K, Oshita A, Kobayashi T, Amano H, Tashiro H, Ohdan H.  
Attenuation of Portal Hypertension by Continuous Portal Infusion of PGE1 and Immunologic Impact in Adult-to-Adult Living-Donor Liver Transplantation.  
Transplantation. 2013. 95(12): 1521-1527
- 143) Ohdan H.  
Is living donor liver transplantation really equivalent to deceased donor liver transplantation?  
Transpl Int. 2013. 26(8): 778-779
- 144) Ohira M, Nishida S, Matsuura T, Muraoka I, Tryphonopoulos P, Fan J, Tekin A, Selvaggi G, Levi D, Ruiz P, Ricordi C, Ohdan H, Tzakis AG.

- Comparative analysis of T-cell depletion method for clinical immunotherapy-anti-hepatitis c effects of natural killer cells via interferon-gamma production. *Transplant Proc.* 2013. 45(5): 2045-2050.
- 145) Matsushima H, Soyama A, Takatsuki M, Hidaka M, Muraoka I, Kuroki T, Eguchi S The Outcomes of Patients with Severe Hyperbilirubinemia Following Living Donor Liver Transplantation *Dig Dis Sci.* 2013. 58(5): 1410-4
- 146) Matsuzaki T, Tatsuki I, Otani M, Akiyama M, Ozawa E, Miuma S, Miyaaki H, Taura N, Hayashi T, Okudaira S, Takatsuki M, Isomoto H, Takeshima F, Eguchi S, Nakao K. Significance of hepatitis B virus core-related antigen and covalently closed circular DNA levels as markers of hepatitis B virus re-infection after liver transplantation. *J Gastroenterol Hepatol.* 2013. 28(7): 1217-22
- 147) Eguchi S, Takatsuki M, Soyama A, Torashima Y, Tsuji A, Kuroki T False positivity for the human immunodeficiency virus antibody after influenza Vaccination in a living donor for liver transplantation False positivity for the human immunodeficiency virus antibody after influenza Vaccination in a living donor for liver transplantation *Liver Transpl.* 2013. 19(6): 666
- 148) Takatsuki M, Soyama A, Eguchi S Liver transplantation for HIV/hepatitis C virus co-infected patients *Hepatol Res.* 2014. 44(1): 17-21
- 149) Eguchi S Is low central venous pressure effective for postoperative care after liver transplantation? *Surg Today.* 2013. 43(7): 828-9
- 150) Egawa H, Nakanuma Y, Maehara Y, Uemoto S, Eguchi S, Sato Y, Shirabe K, Takatsuki M, Mori A, Yamamoto M, Tsubouchi H. Disease recurrence plays a minor role as a cause for retransplantation after living-donor liver transplantation for primary biliary cirrhosis: A multicenter study in Japan. *Hepatol Res.* 2013. 43(5): 502-7
- 151) Tanaka T, Takatsuki M, Soyama A, Torashima Y, Kinoshita A, Yamaguchi I, Adachi T, Kitasato A, Kuroki T, Eguchi S. Evaluation of immune function under conversion from Prograf to Advagraf in living donor liver transplantation *Ann transplant.* 2013. 18: 293-8
- 152) Eguchi S, Takatsuki M, Kuroki T Liver transplantation for patients with human immunodeficiency virus and hepatitis C virus co-infection: update in 2013. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2013
- 153) Shitara K, Morita S, Fujitani K, Kadowaki S, Takiguchi N, Hirabayashi N, Takahashi M, Takagi M, Tokunaga Y, Fukushima R, Munakata Y, Nishikawa K, Takagane A, Tanaka T, Sekishita Y, Kang Y, Sakamoto J, Tsuburaya A. Combination Chemotherapy with S-1 plus Cisplatin for Gastric Cancer that Recurs after Adjuvant Chemotherapy with S-1: Multi-institutional Retrospective Analysis. *Gastric Cancer.* 2012. 15: 245-251
- 154) Yamada A, Ishikawa T, Ota I, Kimura M, Shimizu D, Tanabe M, Chishima T, Sasaki T, Ichikawa Y, Morita S, Yoshimura K, Takabe K, Endo I. High expressions of ATP-binding cassette transporter ABCB11 in the breast tumor are associated with aggressive subtypes and worse disease-free survival. *Breast Cancer Research and Treatment,* 2013 137:773-782.
- 155) Hironaka S, Ueda S, Yasui H, Nishina H, Tsuda M, Tsumura T, Sugimoto T, Shimodaira H, Tokunaga S, Moriwaki T, Esaki T, Nagase M, Fujitani K, Yamaguchi K, Ura T, Hamamoto Y, Morita S, Okamoto I, Boku N, Hyodo I. A Randomized, Open-label, Phase III Study Comparing Irinotecan with Paclitaxel in Advanced Gastric Cancer Patients without Severe Peritoneal Metastasis after Failure of Prior Combination Chemotherapy using Fluoropyrimidine plus Platinum: WJOG4007 Trial. *J Clin Oncol* (in press)
- 156) Taketomi A, Shirabe K, Muto J, Yoshiya S, Motomura T, Mano Y, Ikegami T, Yoshizumi T, Sugio K, Maehara Y. A rare point mutation in the Ras oncogene in hepatocellular carcinoma. *Surg Today.* 2013. 43(3): 289-92.
- 157) Kamiyama T, Yokoo H, Furukawa J, Kuroguchi M, Togashi T, Miura N, Nakanishi K, Kamachi H, Kakisaka T, Tsuruga Y, Fujiyoshi M, Taketomi A, Nishimura S, Todo S. Identification of novel serum biomarkers of hepatocellular carcinoma using glycomic analysis. *Hepatology.* 2013. 57(6): 2314-25
- 158) Shimada S, Kamiyama T, Yokoo H, Wakayama K, Tsuruga Y, Kakisaka T, Kamachi H, Taketomi A. Clinicopathological characteristics and prognostic factors in young patients after hepatectomy for hepatocellular carcinoma. *World J Surg Oncol.* 2013
- 159) Tsuruga Y, Kamachi H, Wakayama K, Kakisaka T, Yokoo H, Kamiyama T, Taketomi A. Portal vein stenosis after pancreatectomy following neoadjuvant chemoradiation therapy for pancreatic cancer. *World J Gastroenterol.* 2013 Apr 28;19(16):2569-73.

- 160) Honda S, Miyagi H, Suzuki H, Minato M, Haruta M, Kaneko Y, Hatanaka KC, Hiyama E, Kamijo T, Okada T, Taketomi A. RASSF1A methylation indicates a poor prognosis in hepatoblastoma patients. *Pediatr Surg Int*. 2013 Nov;29(11):1147-52.
- 161) Shibasaki S, Takahashi N, Toi H, Tsuda I, Nakamura T, Hase T, Minagawa N, Homma S, Kawamura H, Taketomi A. Percutaneous transhepatic gallbladder drainage followed by elective laparoscopic cholecystectomy in patients with moderate acute cholecystitis under antithrombotic therapy. *J Hepatobiliary Pancreat Sci*. 2013 Sep 11. doi: 10.1002/jhbp.28.
- 162) Wakayama K, Kamiyama T, Yokoo H, Kakisaka T, Kamachi H, Tsuruga Y, Nakanishi K, Shimamura T, Todo S, Taketomi A. Surgical management of hepatocellular carcinoma with tumor thrombi in the inferior vena cava or right atrium. *World J Surg Oncol*. 2013 Oct 5;11(1):259.
- Chuma M, Sakamoto N, Nakai A, Hige S, Nakanishi M, Natsuzaka M, Suda G, Sho T, Hatanaka K, Matsuno Y, Yokoo H, Kamiyama T, Taketomi A, Fujii G, Tashiro K, Hikiba Y, Fujimoto M, Asaka M, Maeda S. Heat shock factor 1 accelerates hepatocellular carcinoma development by activating nuclear factor  $\kappa$ B/mitogen-activated protein kinase. *Carcinogenesis*. 2013 Oct 15. PMID: 24130164

#### 1. 学会発表

- 1) 第 97 回日本消化器病学会 2011.5.13-15 東京 シンポジウム  
ウイルスおよび宿主のゲノム解析による 肝移植後再発 C 型肝炎に対する治療戦略  
武富紹信、福原崇介、本村貴志、吉屋匠平、武藤純、的野る美、間野洋平、戸島剛男、森田和豊、萱島寛人、池上徹、吉住朋晴、調憲、前原喜彦
- 2) 第 111 回日本外科学会 2011.5.26-28 紙上開催 サージカルフォーラム  
ゲノム解析による肝移植後再発 C 型肝炎に対する高精度 IFN 治療効果予測法の開発/  
Variants in IL28B in liver recipients and donors correlate with response to peginterferon and ribavirin therapy for recurrent hepatitis C.  
武富紹信、福原崇介、本村貴志、武藤純、的野る美、戸島剛男、武石一樹、吉松正憲、伊地知秀樹、原田昇、内山秀昭、吉住朋晴、調憲、松浦善治、前原喜彦
- 3) 第 47 回日本肝臓学会 2011.6.2-3 東京  
パネルディスカッション  
IL28B 遺伝子多型情報を指標とした C 型肝炎患者に対する新たな肝移植治療戦略「ウイルスおよび宿主のゲノム解析による 肝移植後再

- 発 C 型肝炎に対する治療戦略」  
武富紹信、福原崇介、本村貴志、吉屋匠平、武藤純、的野る美、間野洋平、戸島剛男、森田和豊、萱島寛人、池上徹、吉住朋晴、調憲、前原喜彦
- 4) 第 47 回日本肝臓学会 2011.6.2-3 東京  
パネルディスカッション  
C 型肝炎に対する IFN 導入目的の脾摘における IL28B、ITPA 遺伝子多型解析 脾摘の有用性  
本村貴志、武富紹信、福原崇介、吉屋匠平、的野る美、武藤純、間野洋平、戸島剛男、森田和豊、萱島寛人、池上徹、赤星朋比古、吉住朋晴、富川盛雅、調憲、前原喜彦
- 5) 第 47 回日本肝臓学会 2011.7.28-29 静岡  
ポスター  
C 型肝炎に対する IFN 治療にて SVR 達成後に発症した肝細胞癌症例の検討  
池上徹、調憲、武富紹信、吉住朋晴、萱島寛人、實藤健作、森田和豊、橋本直隆、戸島剛男、本村貴志、前原喜彦
- 6) 第 29 回日本移植研究会 2011.7.22-23 仙台  
要望演題  
宿主 IL28B / ITPA 遺伝子多型解析から見た移植後再発 HCV 戦略  
本村貴志、武富紹信、福原崇介、吉屋匠平、武藤純、的野る美、間野洋平、戸島剛男、森田和豊、萱島寛人、池上徹、吉住朋晴、調憲、松浦善治、前原喜彦
- 7) 第 15 回日本肝臓学会大会 (JDDW) 2011.10.20-23 福岡 ポスター  
宿主 IL28B / ITPA 遺伝子多型解析から見た移植後再発 HCV 戦略  
本村貴志、武富紹信、福原崇介、吉屋匠平、武藤純、的野る美、間野洋平、戸島剛男、森田和豊、萱島寛人、池上徹、吉住朋晴、調憲、松浦善治、前原喜彦
- 8) 第 39 回日本肝臓学会 西部会 2011.12.9-10 岡山  
肝移植後の C 型肝炎及び肝細胞癌再発に対する治療戦略  
本村貴志、調憲、武富紹信、吉屋匠平、武藤純、的野る美、間野洋平、戸島剛男、森田和豊、橋本直隆、萱島寛人、池上徹、吉住朋晴、前原喜彦
- 9) The 3rd International Conference on Transplantomics and Biomarkers in Organ Transplantation 2012.3.8-10 カリフォルニア  
IL28B variation in recipients and donors correlates with response to peg-interferon/ribavirin treatment for recurrent hepatitis C after liver transplantation.  
池上徹、調憲、福原崇介、本村貴志、吉住朋晴、萱島寛人、森田和豊、

- 10) 戸島剛男、武藤純、前原喜彦  
第112回日本外科学会定期学術集会  
2012.4.12-14 東京 サージカルフォーラム  
生体肝移植術後菌血症に対する分岐鎖アミノ酸投与の効果に関する研究  
的野る美、吉屋匠平、武藤純、間野洋平、戸島剛男、橋本直隆、森田和豊、池上徹、吉住朋晴、調憲、前原喜彦
- 11) 第112回日本外科学会定期学術集会  
2012.4.12-14 東京 サージカルフォーラム  
肝細胞癌におけるSTAT3経路の活性化と腫瘍関連マクロファージに関する研究  
間野洋平、相島慎一、吉屋匠平、武藤純、的野る美、戸島剛男、藤田展宏、森田和豊、池上徹、吉住朋晴、調憲、小田義直、前原喜彦
- 12) 第112回日本外科学会定期学術集会  
2012.4.12-14 東京 サージカルフォーラム  
肝細胞癌に対する生体肝移植後の予後因子としてのmicroRNAの意義  
森田和豊、調憲、武富紹信、吉屋匠平、武藤純、的野る美、間野洋平、戸島剛男、橋本直隆、増田稔郎、池上徹、吉住朋晴、前原喜彦
- 13) 第112回日本外科学会定期学術集会  
2012.4.12-14 東京 サージカルフォーラム  
IL-12/DC併用術前免疫療法による肝移植後の肝細胞癌再発予防に関する研究  
萱島寛人、戸島剛男、岡野慎士、吉屋匠平、武藤純、的野る美、本村貴志、間野洋平、森田和豊、橋本直隆、増田稔郎、池上徹、吉住朋晴、武富紹信、調憲、前原喜彦
- 14) 急性肝不全研究会  
2012.6.6 石川 シンポジウム  
改正臓器移植法施行前後の急性肝不全に対する生体肝移植  
吉住朋晴、調憲、池上徹、吉屋匠平、的野る美、戸島剛男、木村光一、中川原英和、松本佳大、川崎淳司、長尾吉泰、播本憲史、山下洋市、池田哲夫、副島雄二、前原喜彦
- 15) 第37回日本外科系連合学会学術集会  
2012.6.28-29 福岡 一般演題  
Virtual Touch Tissue Quantification(VTTQ)による肝細胞癌切除後難治性腹水の予測  
武藤純、原田昇、吉屋匠平、的野る美、間野洋平、戸島剛男、森田和豊、池上徹、吉住朋晴、調憲、前原喜彦
- 16) 第67回日本消化器外科学会  
2012.7.18-20 富山 シンポジウム  
生体肝移植後長期成績向上のための治療戦略の構築：原疾患治療を目指して  
吉住朋晴、調憲、池上徹、播本憲史、戸島剛男、吉屋匠平、中川原英和、松本佳大、木村光一、川崎淳司、的野る美、山下洋市、副島雄二、前原喜彦
- 16) ILCA 2012.9.14-16 ベルリン  
Preoperative Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio (NLR) is a Predictor of Survival after Hepatectomy for Hepatocellular Carcinoma A Retrospective Analysis.  
間野洋平、調憲、山下洋市、播本憲史、辻田英司、武石一樹、相島慎一、池上徹、吉住朋晴、山中達、前原喜彦
- 17) ISCRT 2012.11.9-10 東京 ポスター  
The impact of the neutrophil-to-lymphocyte ratio on outcomes after LDLT or liver resection for hepatocellular carcinoma.  
吉屋匠平、調憲、本村貴志、間野洋平、播本憲史、山下洋市、池上徹、吉住朋晴、副島雄二、前原喜彦
- 18) 第23回日本消化器癌発生学会  
2012.11.15-16 徳島 ワークショップ  
好中球/リンパ球比を用いた、肝臓に対する生体肝移植後の再発予測に関する検討  
吉住朋晴、調憲、副島雄二、池上徹、播本憲史、戸島剛男、吉屋匠平、中川原英和、松本佳大、木村光一、川崎淳司、的野る美、山下洋市、前原喜彦
- 19) 第99回日本消化器病学会総会  
2013.3.21-23 鹿児島  
C型肝炎治療困難例への対策 生体肝移植 C型肝炎再発に対する治療戦略  
池上徹、調憲、前原喜彦
- 20) 第113回日本外科学会  
2013.4.11-13 福岡  
生体肝移植術後における胆汁うっ滞性C型肝炎発症の規定因子の検討  
松本佳大、調憲、副島雄二、吉住朋晴、池上徹、山下洋市、相島慎一、播本憲史、戸島剛男、吉屋匠平、中川原英和、川崎淳司、木村光一、前原喜彦
- 21) 第113回日本外科学会  
2013.4.11-13 福岡  
外科領域におけるゲノム研究の進歩 IL28B 遺伝子多型解析による、肝移植後 C型肝炎再発に対する革新的治療戦略  
本村貴志、調憲、池上徹、中川原英和、木村光一、松本佳大、吉屋匠平、戸島剛男、播本憲史、山下洋市、内山秀昭、吉住朋晴、副島雄二、前原喜彦
- 22) 第49回日本肝臓学会総会  
2013.6.6-7 東京  
C型肝炎の治療最先端 肝移植後 C型肝炎再発に対する三剤併用療法を含む治療戦略  
池上徹、調憲、前原喜彦
- 23) 第49回日本移植学会総会  
2013.9.5-7 京都  
HCV 肝炎に対する肝移植 C型肝炎硬変に対す

る生体肝移植の総合治療戦略

調憲, 池上徹, 吉住朋晴, 山下洋市, 二宮瑞  
樹, 井口友宏, 吉屋匠平, 松本佳大, 木村光一,  
中川原英和, 岡野慎一, 前原喜彦